

梅の開花で厳しかった冬の寒さも和らぎ、春の鼓動が感じられる、喜びの季節となりました。

本日ここに、大阪国際高等学校第一回卒業証書授与式を挙行いたしましたところ、公私ともにお忙しい中、大阪府教育庁私学課 島田参事様、本校PTA松永会長様、同窓会岩本会長様にご臨席を賜り、卒業生の門出を祝っていただきますこと、心から感謝申し上げます。本来であれば、その他にも多くのご来賓の方々にご臨席賜るところですが、本年はそれが叶いません。誠に口惜しい限りですが、皆様には日頃から厚いご支援やご指導をいただいております。この場をお借りしまして、改めて御礼を申し上げます。

さて、ただいま、本校二〇二二年度卒業生 二百七十一名に卒業証書を授与いたしました。本日ご臨席いただきましたました保護者の皆様方には、ご子息ご息女の晴れのご卒業、誠におめでとうございます。高校時代は、長い人生のうちでも、心身ともに大きく成長すると同時に多感な時期でもあります。ご苦勞、ご心配もあったことと思います。が、今このように立派に成長され、晴れやかに巣立ちゆく我が子の姿を目の前にされますと、皆様方の感激もひとしおのことと存じます。教職員一同を代表して心からお祝い申し上げます。

卒業生のみなさん、卒業おめでとうございます。

青春真っ只中のこの三年間は、みなさんにとってどんな高校生活だったでしょうか。きっと数え切れなくらいの思い出が出来たことと思います。楽しいことや嬉しいこと、逆に苦しいことやつらいこともあったでしょう。

そうした経験はどれもみなさんを大きく成長させてくれたに違いありません。そして、多くの友や先生方と過ごしたこの年月はみなさんの将来にとって大きな礎となってくれるはずです。また、みなさんの在学中には、本校は大きな節目を迎えました。キャンパスを大和田校地から松下町校地に移しての、新校「大阪国際中学校高等学校」の開校です。入学後に、慣れ親しんだ学校・校舎から移転することになったみなさんには、物理的にも精神的にも大きな負担を掛けてしまいました。が、斬新なデザインとコンセプトで各方面から評価をいただいている新キャンパスでの学びには、みなさんも満足をしてくれたものと思います。みなさんは、大和田と新校をつなぐ継承者、架け橋たる学年です。その両校ともを、思い出の学び舎、わが母校として、抱き続けてほしいと思います。

しかしながら、みなさんが高校生活を送ったこの三年間は大変厳しい時期と重なってしまいました。新型コロナウイルス感染症の拡大により、入学式は中止、その後も約二か月間も休校となり、みなさんの高校生活は大変重苦しいスタートとなりました。その後も学校活動は大きな制約を受け続け、文化祭や体育大会、修学旅行などの行事も、その多くが中止や延期、内容変更などを余儀なくされました。三年生になってからは、世の中の状況が少し落ち着きを取り戻し、学校もほぼ例年通りの活動が行えるようになりましたので、みなさんもようやく思い描いていた高校生活を送れる、そんな実感を持てたことと思います。しかし、コロナ禍が無ければ、もっと違う形で高校生活を楽しむことが出来たのにと、うらめしく思う人も

多いと思います。しかし、「逆境は人を育てる」といいま  
す。コロナでつらい思いをたくさんしたけれども、みなさ  
んはその分強くなりました。命や家族、友人の大切さも学  
びました。そして、様々なことを自分で乗り越えていく力  
も身につけていっているはずで。コロナ禍での逆境や  
理不尽からみなさんが学んだことは、きつとみなさんの  
世代の強みになってくれるに違いありません。

『人生は心ひとつの置き所。晴れてよし、曇りてもよし、  
富士の山。もとの姿は変わらざりけり』

これは幕末から明治にかけての思想家、山岡鉄舟の言  
葉です。皆さんの人生はとても長いものです。これからも  
色々なことが起きるでしょう。しかし、どんな問題が起き  
ようとも、それを引き起こしたのは自分自身で、原因は常  
に自分にあり。他人（ひと）のせいにはせず、他人（ひと）  
と比べず、自分が全力で問題の解決にあたるという姿勢  
をくずさないこと。そして、人生は自分の心の持ち方次第  
で良くも悪くもなると、常に自分の心を積極的な方にお  
いて世の中と向き合うこと、それが良い人生を送るため  
の鉄則です。

さて、皆さんはこれから「人生の新たなステージ」に飛  
び立つわけですが、それは決して楽なものではありません  
ん。これまでの大人世代の誰もが経験したことのないグ  
ローバル化と多極化がうねりを増す「未知の時代」となる  
からです。生活様式や価値観も大きく変わっていくこと  
でしょう。皆さんは、そんな未知の時代を生き抜いていか  
ねばならないわけです。しかし、「未知の時代」というフ  
レーズは、みなさんより上の世代が発するものであり、

「未知の時代」はみなさんにとっては自分たちが生きて  
いる「自らの時代」なのです。今の時代に一番合った感性  
やバランス感覚を持っているのは、まさにみなさんなの  
です。みなさんはこれからの時代に必要なことやあるべ  
き姿を見出すことが出来ますし、やっていかねばなりま  
せん。そのためには、「自分を大切にする」「自分の未来を  
大切にする」そして、自分は成長できると信じ、「自分を  
みがき続ける」姿勢が大切です。

これまでは新型コロナウイルスによる健康や経済への  
マイナスの影響の方が注目されてきました。コロナ禍  
を克服した後、新たな社会の実現へと動き出すプラスの  
面の変化にも想像力を働かせてください。たとえばリモ  
ート技術が普及し、離れていても互いを確認しながら会  
話ができる新しいコミュニケーションが定着しました。  
近い将来、バーチャルでも、より現実に近い環境を再現し  
ながら、対話ができるようになることでしょう。今後、A  
Iや5Gなどを使いこなし、新しい社会を築いていくの  
はみなさんの世代です。世界は地球環境、貧困などの課題  
にも直面しています。みなさんには、「新しい時代は私た  
ちがつくるんだ！」という気概を持って、これからさらに  
学んでいってほしいと思います。そして、大阪国際の三年  
間で学んだことをベースに、今後もさまざまなことに関  
心を持って新たなチャレンジをしていってください。そ  
うしたチャレンジからの経験は、自分自身で考える力や  
行動力を育てるとともに、自らを支えそして社会に貢献  
できる力となってくれるはずですよ。

みなさん、あらためて卒業おめでとう。そしてこれから

もがんばれ！大阪国際生。ぜひこれからの人生もさらに  
光り輝くものにしてください。いつまでも応援していま  
す。

結びに、卒業生のみなさんひとり一人の存在がご家族  
にとっては希望の光であり、また地域社会そして国際社  
会にとっては未来を担うたくましい力となることを心よ  
り祈念しまして、私の式辞といたします。

令和五年二月二十八日

大阪国際高等学校

校長 松下寛伸